

今週（11月11日から11月15日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、13日(水)に3市場合同のBCP訓練に伴う特殊な出会いが見られたものの、全般的には引き続き動意に乏しく落ち着いたマーケットとなった。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、BCP訓練の影響もあり13日(水)のみ0.228に上昇したが、そのほかの日では15日(木)まで0.227%となり、16日(金)も概ね横這い圏での取引が中心となった。

ターム物に関しては、1W~1M物で0.227~0.30%での出会いとなった。しかし、2M以降の長い物になると12月の決定会合への警戒感に加え、年末越え要因も重なるため目立った出会いは見られなかった。

日銀当座預金残高は、11日(月)に546兆円台半ばで始まった。その後は、国債発行や源泉税揚げによる減少、国債買入オペによる増加要因などが見られたものの、週を通して大きな変動はなく、概ね546兆円前後で落ち着いて推移した。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、0.18~0.25%程度で推移する展開となった。オファーが薄くなったタイミングで一時的なレート低下が見られたものの、全般的には0.22~0.25%近辺での出会いが中心となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y455~466回、5Y165~173回、10Y355~376回、20Y180~190回、30Y65~84回、40Y10~17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全てのゾーンでレートが上昇した。

15日(金)に実施された3M物入札は、事前予想に比べ強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも、強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気機器、建設業、鉄鋼業など複数の業態から大型発行が実施された。

市場残高は、14日(木)まで概ね24兆円台前半での推移となった。

発行レートは、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
11/11 (月)	39,533.32	0.995	153.10	0.227	0.237	5,465,400
11/12 (火)	39,376.09	1.005	153.79	0.227	0.228	5,459,300
11/13 (水)	38,721.66	1.040	154.90	0.228	0.222	5,475,400
11/14 (木)	38,535.70	1.058	155.65	0.227	0.204	5,463,700
11/15 (金)	38,642.91	1.070	156.33	0.227	0.235	5,462,300

来週（11月18日から11月22日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/18 (月)	9月の機械受注統計(内閣府 8:50) 9月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)				
11/19 (火)		TB1Y 32,000億円 11/20発行	流動性供給 6,500億円 11/20発行	交付税借入 13,000億円 11/27借入	10月の米住宅着工件数 10月のユーロ圏消費者物価指数改定値
11/20 (水)	10月の貿易統計(財務省 8:50)				10月の英消費者物価指数
11/21 (木)		20Y 10,000億円 11/22発行		交付税借入 13,000億円 11/29借入	10月の米中古住宅販売件数
11/22 (金)	10月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 43,000億円 11/25発行			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/18 (月)	200	▲ 21,700	▲ 21,500	被災地支援 国債補完	▲ 100 5,700	100	5,700	▲ 15,800	TB3M発行△43,000償還49,000 5Y発行△23,000
11/19 (火)	500	1,000	1,500				0	1,500	
11/20 (水)	▲ 500	▲ 4,000	▲ 4,500				0	▲ 4,500	TB1Y発行△32,000償還34,600 流動性供給△6,500 エネルギー対策借入△6,300期日6,500
11/21 (木)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000	社債買入		250	250	▲ 1,750	
11/22 (金)	▲ 2,000	▲ 12,000	▲ 14,000				0	▲ 14,000	20Y発行△10,000 交付税借入△13,000償還13,000
週間合計	▲ 2,800	▲ 37,700	▲ 40,500	—	5,600	350	5,950	▲ 34,550	

11/18は日銀予想、11/19以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態を中心に調達ニーズの強い展開が見込まれ、レートは横這い圏での推移が予想される。ターム物に関しては、決定会合を跨ぐ期間におけるレート水準の動向が注目される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.20～0.26%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、19日(火)に1Y物、22日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、18日(月)と21日(木)に五・十日発行に関する入札等が予定されており、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では18日(月)に9月の機械受注統計、22日(金)に10月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、19日(火)に10月の米住宅着工件数、10月のユーロ圏消費者物価指数改定値、20日(水)に10月の英消費者物価指数、21日(木)に10月の米中古住宅販売件数などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。